

**Q** 立派な新庁舎にふさわしい  
職員の対応が求められるが

**A** 研修などを通し町民目線で  
対応するよう指示する



佐藤定男議員

**問** 新庁舎での業務が開始されて半年が経過し、立派な庁舎にふさわしい職員の対応が求められている。  
窓口での初期対応や担当への取り次ぎなど、職員の教育・指導はどのように行われているのか。

**総務課長** 新規採用職員への前期末期の研修受講、2～4年目の職員に対する住民サービス向上のための接遇実践講座、さらには、不定期ではあるが、役場内で臨時・嘱託職員も含めた接遇研修を行っている。

**町長** 町政運営の基  
本的な考え方は町民主役の町政であり、常に町民目線で行ってきた。総合案内や町政全般について相談できる町民相談室を設置し対応してきた。さらに、町民の身になって町民の思いを表現できるように日々指示をしている。就任当初からみると職員の町民に向かう姿勢がかなり良くなっていると実感している。  
引き続き、町民の気持ちになつて対応することを継続し、パーフェクトはないがベストな対応をしていきたい。

**町道・林道の整備に具体的な対応を**

**問** 町道整備など  
の要望に対する回答は示されているが、いつまでにやるなど具体的に回答できないか。

**建設課長** 東日本大震災後、住宅除染が喫緊の課題であり、復興プロジェクトを最優先に取り組んできた。先に取り組んできた。修繕工事などは通行に及ぼす危険性や利用頻度を勘案し、優先順位を付けて対応してきた。実施時期などはなかなか明言はできないが、震災復興のめどが立つ平成28年度以降において積極的に対応していきたい。

**問** 復興の兆しが見えているという  
ことで、今後は今ま

でより町内会の要望に応えた形で整備を進められるのか。

**町長** 来年度以降、事業を実施するために、先を見据えてすでに公共関係の基金も作っている。また、町と方部会で連携しながら案件に優先順位を付け、取捨選択をしながら実行するようシステム化ができないかと考え指示している。今後なるべく町内会の皆様の意に沿うような対応をしていきたい。

**問** 林道・北口線はここ数年草刈りなどがなされず、この夏は路肩の白線が見えないほど危険な状態だった。毎年予算化して安全な通行の確保に努めるべきではないか。

**産業振興課長** 町の厳しい財政事情から、林道の管理上、危険であると考えられる個所について優先的に対応している。

**人事評価制度をどう進めていくのか**

**問** 平成28年4月  
から人事評価制度が導入される。導入に向けた状況と評価方法について伺う。

**総務課長** 現在、導入に  
容について検討を行っており、平成28年4月から実施できるよう準備を進めている。  
人事評価の基本的な仕組みは「能力評価」と「業績評価」の2本立てで実施し、最終的には人材育成につながる制度と考える。

# Q 今後の防災訓練はどう進めていくのか

## A 総合的な訓練も実施するなど多くの町民が参加できる訓練としたい

**問** 今後の防災訓練は地区ごとで行うのか、全体で総合的に行うのか。また、開催時期について具体的な案はあるのか。

今後の防災訓練は、みを作る必要がある。広域的な観点での連携が非常に重要なので、総合的な防災訓練も随時実施し、町民の安全安心に対応することが必要と考えている。

**町長** 今年度の取り組みを十分総括し、数多くの町民が参加できる効果的な枠組

加でできる効果的な枠組

**問** 防災訓練に対する町民の意識を向上させるにはどうするのか。

**課長** 地域をつなぐ

め、地域の防災力を高める大切な機会である防災訓練に、積極的に参加してもらえよう。な取り組みを継続して推進していく。

**問** 新庁舎での防災訓練などはどうしているのか。議場も考え、議員を含めた避難訓練を実施するべきだと思いがいかがか。

うしているのか。議場も考え、議員を含めた避難訓練を実施するべきだと思いがいかがか。

**総務課長** 12月18日に消防訓練を実施するべく進めている。議場などそれぞれの職務の場所からの避難経路の図も示しながら、安全に避難できるように体制を組みたい。

**問** 子どもたちの地域防災参加についてどのような考えを持っているか。

**教育次長** 地域での防災訓練などに参加

すること、自分の地域の危険と備えについて知識を自然に身に付けられるため、防災意識の高揚が図られる観点から子どもたちも参加できるよう学校、関係課、関係機関と連携を図っていきたい。

**問** 東京都オリジナル防災ブックの中に身近な素材の活用術として紙バックや

ペットボトルを利用した工がある。授業やわんぱく広場で工作することで、防災意識、想像力の向上につながるのではないか。

想像力の向上につながるのではないか。

**教育長**

子どもたちの想像力を働かせいろいろな経験をする中で、おおいに防災意識の向上につながると思う。

生活科やわんぱく広場などで

実施できるか前向きに検討したい。

**問**

最低限自分の食料を日常的に常備させるように

最低限自分の食料を日常的に常備させるように

**課長** 「防災マッ

ップ」だけでなく、全戸に配布されている「防災の手引き」や「災害と自助」で、

まずは自分の身を守るために、家庭での備蓄

は3日分程度を目安にお願いしている。町民の皆様と連携しながら

「災害に備える」という意識の高揚を推進し

ていく。



渡辺勝弘議員



救命救急についても真剣に学ぶ(小坂地区)